

鶴見大学歯学部同窓会愛知県支部

# 鶴歯会だより

第21号 平成19年3月発行



## 第 2 1 号「鶴歯会だより」目次

表紙		
目次		2
巻頭言	加藤 友久	3
挨拶	本部同窓会会長 村田 憲信	4
挨拶	石井 みどり	5
総会	斉藤 伸明 「第 2 6 回総会を終えて」	7
随筆	平野晴康 「鶴歯会に想う」	8
新入会員紹介	加藤 智子 (30 回生)	9
	酒井 陽 (30 回生)	9
	佐野 徳太郎 (31 回生)	1 0
	加藤 久代 (31 回生)	1 0
随筆	竹内 精司 「クラシック音楽と私」	1 1
写真集	各行事写真	1 3
会計お知らせ		1 5
役員会報告	中村 佳嗣	1 6
編集後記	田中 英穂	1 7
付録	鶴歯会役員名簿	1 8
	鶴歯会会員名簿	1 9

「表紙写真 田中 英穂」

### 石井みどり支援活動

支部長 加藤 友久（4回生）



我々同窓会の先輩である石井みどり先生が次期参議院選比例選の候補者であることはご存じのことと思う。平成18年6月22日に東急ホテル（愛知県歯連盟主催）にて、石井みどり先生が選挙演説されたことは記憶に新しい。同窓会愛知県支部の支部長として動員をかけたが、多くの同窓生にご参加いただいた。この時のことは感謝の念に堪えない。石井みどり先生の選挙演説後の会場から聞きもれてきた評価は高く、高齢者の医療制度、メタボリックシンドローム、混合診療問題等の持論展開に定評があった。日歯連盟の過去の参議院議員と比べるとビジョンがしっかりしていて分かりやすく、何かしら期待が持てるとの評価も聞かれた。同窓の者としてはうれしい限りである。

さて今回の選挙において、特に鶴見大学歯学部同窓会会員として注意していただきたいことがある。過去の参議院選での投票では、候補者名または自民党と記入すれば良かったのだが今回は「石井みどり」と投票しないと得票数にカウントされない。よって「石井みどり」の投票依頼をする際には必ず「石井みどり」と記入していただかなければならない。すなわち今回の選挙でも各学区で得票数を発表するため、各歯科医師の先生がどれくらいがんばったか一目瞭然となる。私の場合で云うと吹上小学校学区であるが、この学区には歯科医師は私しかいない。もし0票ならば、加藤個人すら投票していないということが分かってしまうわけだ。今回の石井みどり選挙では鶴見大学歯学部同窓会会員の学区では本人家族はもとより、従業員、歯科関係業者に至るまで声をかけていただき5票、10票と得票数が加算されていくよう応援していただきたい。そして、もう一つお願いしたいことが「石井みどり」候補は鶴見大学歯学部の同窓会代表ではなく、歯科界の代表であるということをお忘れではない。だから皆さんが選挙応援をお願いする際には歯科医師会の会員、非会員を問わず声をかけていただきたいし、歯科大学関係者にも協力依頼をしていただきたい。

同窓会本部も「石井みどり鶴見後援会」を発足させた。私も愛知県支部支部長として「支部代表幹事」として役員に就任することとなった。この会から具体的な指示はまだ出ていないが、日歯連盟の4つの後援活動を後押しすることになるだろう。具体的には以下の作戦である。知ってもらう作戦 伝えてもらう作戦 行ってもらう作戦 書いてもらう作戦 この4つの作戦のことである。日歯連盟からの支援者名簿の提出指示があると思うが必ず協力していただきたい。また、本部同窓会からも何かしらの協力依頼が出ると思われるので重ね重ねお願いしたい。

今の歯科界に何かしらの閉塞感が漂っていると思うのは私だけであろうか。今回の医療保険の改正、平成20年度から開始される特定健診の歯科はずし等々。そろそろ、石井みどり先生が国政の場で机をたたきながら歯科界の状況を主張していただき、この閉塞感を払拭してくださることを切に願う。

## 同窓会会長からのご挨拶



昨年は、同窓会創立 30 周年の記念事業に際し、同窓生の皆様の多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰様で多くの皆様から高い評価をいただき、関係者一同肩の荷を降ろすことができました。

しかし、記念事業が無事に終了したことを安堵し、その余韻を楽しむ暇もなく、歯科界あげての大事業である石井みどり先生の後援会活動が全国的に展開され、各地において同窓生の皆様に多くのご尽力をいただきました。そして迎えました本年は、いよいよ選挙本番の年です。今回の選挙は、歯科界の浮沈を左右する重要な意味をもつ戦いです。昨年の診療報酬改定にみられた歯科に対する低評価と理不尽な要求は、歯科医療の現場に多くの混乱をひき起こしました。歯科に対する行政の高圧的な姿勢は従来と異なり明らかに一連の不祥事に起因するものです。お役所の掟を考えるとその楔は容易なことでは済まされないでしょう。しかしそれを打開するためには何かをしなければなりません。その一つは次期の参院選で石井先生が高い得票を持って当選を果すことです。同窓会の政治活動については批判もあることと思います。そのために石井みどり鶴見後援会を組織して後援会活動を進めています。この選挙は歯科界に身を置く全ての人との利害に関わるものです。その勝利は同窓会の目的の一つである歯科界の発展に寄与することになります。大学歯学部をはじめ、鶴真会、父母会など関連の団体からも大きなエールが送られています。私自身も 20 年を超す医政とのかかわりを活かして全力で石井先生を支援しています。今年同窓会は 32 期の卒業生を新たな同窓会員として迎えることになります。次の時代を生きる若い同窓生の皆様に明るい未来を提供できるようにしたい。これが私たちの大きな願いです。私たちは、石井先生の戦いが自分自身の戦いであることを理解することが重要です。年頭の挨拶としては異例の厳しいことばとなりましたが意のあるところをご理解下さい。自らの道は自ら切り拓くしかありません。私たちの未来を後に続く若き同窓生の未来のために頑張らしましょう。“勝利の美酒をめざし” 本年も宜しくお願い申し上げます。

鶴見大学歯学部同窓会会長  
村田憲信

平成 19 年 1 月 1 日

本部同窓会ホームページから

## 公平な社会 安心の医療実現へ



### 私の政策

#### 信念から

##### 地域の創意工夫を生かす分権改革

日本の元気は地域から。地域での取り組みを応援し生かしていくために、分権改革を進めます。

(具体的には)市町村での多様な取り組みを支援する環境整備や人材育成など  
子どもから社会人までの教育改革

幼児教育から大学教育までの連続性を重視するとともに、社会人を対象とした継続教育など、人々の可能性を引き出すための教育の充実に取り組みます。

(具体的には)一貫教育への取り組みや職業人教育への支援強化など

##### 女性として

##### 働く女性を応援する雇用改革と育児支援

少子・高齢・人口減少社会において女性の役割は重要です。働く女性を応援するための雇用環境の整備と育児支援体制の充実に取り組みます。

(具体的には)女性の雇用環境の充実、子どもの保育や医療体制の整備など

##### 医療人として

##### 健康長寿のための口腔ケアなど医療改革

長寿社会において、楽しく会話し食事を楽しむために口腔ケアが一層大切になっています。生活習慣病対策や介護給付などでの口腔ケアの充実に取り組みます。

(具体的には)介護給付や健診・保健プログラムでの口腔ケアサービスの充実など

##### 障害のある人たちの可能性を応援する福祉改革

医療現場で障害のある人たちと接してきた経験から、社会的な取り組みの必要性を痛感しています。それぞれの可能性を応援する幅広い支援策の実現に取り組みます。

#### 私の決意

##### 医療人、歯科医師として

国民皆保険の堅持を訴えます。

どんな厳しい財政状況になろうとも、国民の健康を守ることは政治、とりわけ責任政党自民党の責務です。あたかも財政優先の数字だけに捉われようとする論議の中で、歯科医師として、その不合理を国政の場で訴え、日本の財産でもあるこの国民皆保険制度を堅持し国民の健康をしっかりと守ります。

現場の声が反映された医療制度構築を進めます。

財政の枠の中に無理やり押し込めた現在の歯科医療制度は、あまりにも現場の現



状を無視しています。平成 18 年 4 月改定の内容などは言語道断です。日本の歯科医療を守る観点からも経営基盤の安定が図れる改定を目指し、この不条理な歯科医療環境を、現場の声を集約して一步一步改善していきます。

**歯科医療が疾病型から管理型へ移りつつあることを内外に提唱します。**

既に小児歯科がそうであるように、歯科は医療体制そのものが他の専門科とは異なり、管理型医療へ移りつつあります。その認識を政府、国会議員に理解してもらい、歯科医療の制度を抜本的に改革することを提唱します。不条理な歯科医療環境を、現場の声を集約して一步一步改善していきます。

**需給問題の改善を政治の場でも議論します。**

厚労省、文科省両大臣の確認事項が取り交わされ、歯科医師の需給問題は政治の場にも俎上に上がってきました。現場と政治とのパイプ役としてこの問題解決に努めます。

**生活習慣病としての歯科疾患の重要性を医療政策の中でしっかりと位置づけます。**

生活習慣病の中に入る歯科疾患、特に歯周疾患の予防を国の政策の中に組み込ませながら、日歯の活動と歩調を合わせ官民一体の事業推進を図ります。

**ライフサイクルに即した歯科健診制度の確立に尽力します。**

学校健診で途絶えている公的な健診制度を全てのライフサイクルに即した制度に拡充し、世界に評価されている 8020 運動を更に促進します。

**歯科の力を介護に生かします。**

「食べる」ことは、生きるうえでの最上の楽しみの 1 つであり、高齢者や要介護者への支援は、健康寿命の延伸に貢献することを訴えていきます。そのためにも口腔ケアの重要性をさらに訴えていきます。

**食を守る専門家として食育、健康教育への参加を促す政策を提唱します。**

口腔の健康を守る専門家であるデンタルファミリーが食育、健康教育の先頭に立てる環境整備を促し、実践する中で教育改革の旗頭となるよう国に働きかけます。

**レセプトオンライン化による一律の強制はさせません。**

政府主導の医療費抑制、効率化対策として導入されようとしているレセプトオンライン化にあたり、一律の強制は阻止していきます。

### その実現のために・・・

- 一人でも多くの、国会議員の歯科医療への理解者を増やすため、まず自民党内に歯科の国会議員ネットワーク作りを進めます。
- 政治、行政、日歯、日歯連盟、学会が一致して日本の歯科医療発展のための関係強化、改善を図ります。
- 絶えず日歯、日歯連盟との連携を図り、その情報交換を密接に図り、政治と歯科医療を近づけることに努めます。

<http://www.ishii-midori.jp/index.html>

石井みどりホームページから

# 第 26 回鶴歯会定例総会

愛知県支部定例総会を終えて

齊藤伸明 (11 回生)



平成 18 年 7 月 9 日 (日) 午前 10 時より名古屋観光ホテルにおいて、平成 18 年度愛知県支部第 26 回定時総会が開催されました。出席者 28 名、委任状 20 名にて総会は成立致しました。

中村佳嗣専務理事の司会により総会は進行し、黒宮親一副支部長の開会の辞、加藤友久支部長挨拶につづき高橋嘉宏鶴見大学歯学部同窓会副支部長より本部同窓会の現状、石井みどり先生の参議院選の動きや同窓会としての対応(後援会等)について挨拶されました。続いて皆川象洋先生が議長に、長谷川修司先生が副議長に選出され議事に移りました。

報告

会員動静並びに慶弔  
渉外慶弔関係  
本部評議委員会報告  
愛知県支部役員名簿(平成 18 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)  
鶴歯会HPについて  
新入会員紹介及び記念品贈呈  
加藤智子(30 期生)  
加藤久代、酒井陽、佐野徳太郎、安井幸大(31 期生)

議事

- 第 1 号議案：平成 17 年度会務一般並びに役員会報告及び平成 17 年度事業報告の承認を求める件
- 第 2 号議案：平成 17 年度会計報告及び監査報告の承認を求める件
- 第 3 号議案：平成 18 年度度事業計画の承認を求める件
- 第 4 号議案：平成 18 年度度予算案の承認を求める件

慎重な審議の結果、すべての議事が承認され大場直宏副支部長の閉会の辞にて本年度も無事総会を終えることができました。

### 鶴歯会に想う

平野晴康（6回生）



原稿を広報の担当者から依頼され早、数ヶ月。一日一文字づつしたためでも、200字近くは、書けたはずなのに一夜潰け。渥美のだいこんの「たくわん」でも一カ月は潰けるのに同窓会かぁ～“ どうしよう会 ”なんて思いながら、芥川作家のように編集者の催促に追われながら“ あたふたがわ ”作家になっております。

昨年の7月22、23日、本部同窓会30周年記念祝賀会が東京高輪で開催され同期のW君と岐阜のF君、兵庫のT君を誘って（個人情報保護法にてイニシャルで）東京へと楽しく出発したのです。そうなんです、楽しく、楽しみになんです。同窓会って「楽しい」が基本にあるものです。しかし会として運営していく、組織として機能していくためにはそれなりの役割、かわりかどうしても必要です。その事が面倒だ、つらいということで、参加協力できないとしたら...・私たちには関係ないなんて言わないで下さい。仏教系の大学を出た人が！「生かされている」事の教えを！否応なしに関係あるんです。金持ちの人は三欠・つまり義理、人情、交際を欠かすそうです。役員をやっている人は貧しいです。三欠ではないんですから。（特に私はね）

どうか自分のできること、それを今一度30周年の節目に考えていただきたい。30年の月日は「あ」と言う間でした。過ぎ去る物は、向ってくるものよりも早く目の前を通過するようになります。ドップラー効果で証明されるようにね。年齢と共に一年が早く感じるのもこれと同じです。一年は、早すぎるが、一日はすごく長く感じる方は要注意！（老齡化）

同窓生、お互い共通性とか同質なものがあるから安心できる理解しやすい、そんな環境、オアシスがあってもいいのではないのでしょうか。複雑化した社会なればこそ、ここに目を向け身をゆだねてもらいたい。ただそれすら気にする余裕がなくなっているのでしょうか。A・非Aと分ける2分法はきれいですか。同窓会だけはそうあってもいいものの代表だと思います。

来る7月の参議員選挙、1回生石井みどり先輩の当選を願いつつ。

立春大吉



## 新入会員紹介

### 加藤 智子（30回生）



はじめまして。

今年度より新入会員として「鶴歯会」に入会させていただきました。現在は、愛知学院大学歯学部で研修医をしています。前期は大学内での研修、後期は研修施設である開業医にて研修させてもらっています。歯科医師免許を取得したけれど、分からないこと、技術や知識の未熟さを日々感じています。又、先生の出身大学により、すこし治療の方法や方針が異なることもあり、鶴見大学で学んだことを懐かしく思うこともあります。愛知県で、母校である鶴見大学出身の先輩である先生方と交流をもてることは、とても心強いです。以前に先生方とお話する機会がありましたが、話しやすい雰囲気の中で安心したことを覚えています。これからお世話になりますのでどうぞよろしくお願い致します。

### 酒井 陽（30回生）



平成17年3月卒業，一年目研修医の酒井陽です。  
現在，名古屋大学大学院医科学系研究科頭頸部・感覚器外科学講座・歯科口腔外科の研修医として外来にて臨床に日々精進しております。

今回，鶴見大学歯学部同窓会愛知県支部，鶴歯会に入会させていただきました。  
名古屋に帰ってきてから忙しい毎日で同級生ともなかなか連絡をとることもままならないほどです。このようなときに鶴歯会のような会があることを大変うれしく思っております。これからの鶴歯会に積極的に参加し，先輩方と交流を持っていきたいと思っております。そのときはご指導，ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。若輩者ではありますが，未永くよろしくお願い致します。

## 新入会員紹介

### 佐野 徳太郎 (31 回生)



地元が恋しくなって名古屋に来て、

この度鶴歯会愛知県支部に入会させてもらう事になりました。

第2の故郷となった横浜鶴見を離れて間も無く1年となり、早くもホームシックならぬ鶴見シックにかかりっぱなしです。大学時代はヨット部に所属していました。毎週江ノ島へ練習に行き、最後のオールデンタルでは主管長を務め良い結果も残せたと思います。またバイクで、みなとみらい・八景島へ行ったり、北海道、九州も一周したのが良い思い出です。と、横浜での楽しかった思い出を引きずりながら、こちらでも新しい出会いもたくさんあり日々充実した研修生活を送っています。

自分でも驚く位の若輩者で、会の皆様にも色々迷惑をかける事と思いますがよろしくお願い致します。

### 加藤 久代 (31 回生)



卒試、マッチング、国試と不安と緊張の日々から早一年が過ぎようとしています。私達は研修医制度が法制化された初年度であり、馴れ親しんだ鶴見大学で研修するか地元へ戻り愛知学院で研修するかは最後の最後まで本当に悩みました。最終的には将来愛知県で歯科医業を行うことを考え現在学院で研修中です。合格発表がでると翌日から患者様の配当が始まりました。新しい仲間、新しい指導医の先生方、各大学独特の治療方針など馴れないことばかりでしたが、何でもメモをとり、分からないことはすぐに指導医の先生に伺ったり議論させて頂くことで大変充実した日々を送っています。

また今回の研修生活では学生時代指導を受けた事が本当に役だっており、先生方からも鶴見出身の研修生はしっかりしているとの評価を頂き、鶴見で学んだ事をとて誇りに感じています。また同窓会愛知県支部の集まりでは諸先輩方からの暖かい励ましや、アドバイスが本当にありがたく、鶴大の絆を大切にしていきたいと思っています。諸先輩方のような歯科医を目指し、今後も精進して参りますので御指導の程よろしくお願い致します。

### クラシック音楽と私

竹内 精司

(1回生竹内ヒロ子先生のご主人です。)



私の一日はクラシック音楽で始まる・・・というところしオーバーだが、事実そのとおりなのである。私の診療所では毎日、天井のスピーカーから BGM を流しているが、曲目の約半分がクラシック音楽だからである。勿論それ以外にシャンソン、ジャズ、日本の歌曲、映画音楽、ムード音楽などの CD もかけており、患者さんにも好評である。

実は、私は長い間クラシック音楽が好きであることを内緒にしていた。「クラシック音楽がすきだ」と白状しただけで《堅い趣味を持った近寄りがたい人種》と思われるのではないかという恐れから、よほど相手がクラシック音楽に理解がある人物であることが判明するまでは、話題にすらしめないようにしていたのである。

しかし考えてみれば、日本は世界有数のクラシック音楽が盛んな国ではないだろうか。教育熱心な親ならば、子供をピアノ教室に通わせてピアノのお稽古をさせることは、いまや当たり目の時代になった。総務省の<全国消費実態調査>によれば、昨年度(2005年)の日本国内での販売台数は29、309台で、一般家庭でのピアノ普及率が21.8%に達しているという。

わが国は、小澤征爾(指揮者)、五嶋みどり(ヴァイオリニスト)をはじめ超一流演奏家を数多く世界に送り出しており、世界各地で開催される音楽コンクールに日本人演奏家が上位入賞することはもはや決して珍しくない。名古屋市やその周辺都市には立派な音楽ホールが建設され、そこでは内外のアーティストによる演奏会がそれこそ毎日のように催されている。もはやクラシック音楽は『少数の堅い趣味のオタクの世界』という見方は過去のものとなったようだ。

「クラシック音楽とはなにか」というその正確な定義は知らないが、決して「ヨーロッパの古い音楽」という意味ではないであろう。時代的には、主として17世紀のバロック音楽から20世紀初頭の近現代音楽までをさすであろうが、この時代に作曲された曲の全てが<クラシック音楽>なのではない。この期間に作曲され演奏された曲数は膨大な数にのぼるであるが、その大半は今や忘れられ演奏されてはいない。にもかかわらず、のこされた<楽譜>から<演奏>という形で現代に蘇り、今生きている<聴く人>に何らかの<メッセージと感動を伝えられる音楽>こそが<クラシック音楽>なのであると思うのである。

私のクラシック音楽に親しんだ遍歴を遡って語るには、紙数が足りないが、高校時代はチャイコフスキーやムソグリスキーといったロシア音楽に親しみ、大学入学後はオーケストラ部でヴァイオリンの末席をけがしていた関係で、ベートーヴェン、ブラームス、シベリウスなどに熱を上げたことも思い出となっている。

しかし、このような作曲家の大作を聴いても以前のような感激はどこかへ消えてしまい、近頃はもっぱら<モーツァルト>である。モーツァルトに嵌っているといてもよいくらい、ますますその魅力にひきつけられている。かつては上品で貴族趣味的な音楽の作曲家、としか思ってなかったがそれはまったくの誤解であり、これほど音楽に通じて、人生の喜びや悲しみ、喜劇と悲劇、神聖と世俗、孤独と友愛などを見事に、かつ美しく表現している作曲家はいないのではないかと思う。

実は十数年前よりあるきっかけからピアノに親しむようになり、私の趣味は、テニスと並んで自己流でピアノを弾くことになった。一日の診療が終わり、帰宅するとまずピアノを弾きたくなる。そして取り上げる作品も、最近ではモーツァルトが多い。モーツァルトの楽譜は一見簡潔に書かれているが、プロでもきちんと演奏するのはきわめて難しいとされている。家族には雑音か騒音かもしれないが、一人苦闘し、また悦に入りながらキーを叩いて楽しんでいる。そして蛮勇とは承知で、生涯かけて18曲あるピアノソナタ全曲を弾いてみたいというのが、私のクラシック生活の夢である。

(平成18年9月1日記)

#### 竹内先生略歴

- 1972年 東京医科歯科大学歯学部卒業
- 1976年 同大学大学院終了(歯周病専攻)
- 1976年 日本大学松戸歯学部・助手
- 1976年 国立予防衛生研究所・研究員(非常勤)
- 1979年 名古屋市にて歯科医院開設
- 1984年 朝日大学歯学部生理学教室・研究員(非常勤)
- 1988年 西ドイツにて歯科インプラント学研修
- 1999年 アメリカ歯周病学会・会員
- 2002年 日本歯周病学会・指導医認定





# 写真集



懇親会で挨拶する宮村先生



石井みどり先生



総会で挨拶する加藤支部長



医保講習会 朽名常務



役員と新入会員懇親会



新入会員紹介



# 18 年度早春会 3 月 18 日 (日)



講師 鈴木 丈一郎 先生



鈴木先生 加籐支部長



講演会風景



円卓を囲んで



# 会計からのお知らせ

会員各位

平成19年1月10日  
支部長 加藤友久  
会 計 熊澤秀作

## 19年度年会費自動振替のお知らせ

平素は鶴歯会の活動に対しご理解ご協力頂き、厚くお礼申し上げます。  
さて、19年度の年会費を、8月6日(月)に先生方の口座より下記金額を引き落とさせていただきますので、口座残高のご確認よろしくお願い申し上げます。

### 記

平成19年度年会費 1万円

尚、自動振替の手続きをされていない先生におかれましては、  
8月6日までに、下記の口座へお振り込みのほどよろしくお願いいたします。

口座番号 三菱東京UFJ銀行 高蔵寺支店  
普通 1733966  
鶴歯会 東松 信平



ご不明な点がございましたら、会計 熊澤までご連絡下さい。

TEL・FAX 0568-91-7240

# 平成 18 年度 役員会報告

---

## 第 1 回役員会 平成 18 年 04 月 23 日(日) 愛知県歯科医師会館

- ・新役員人事および担当部署決定
- ・会員連絡網整備
- ・第 26 回定例総会日程調整
- ・新入会員把握

## 第 2 回役員会 平成 18 年 愛知県歯科医師会館

- ・第 26 回定例総会・医療保険講習会および懇親会について
- ・十三校会の件
- ・本部同窓会 30 周年記念式典の件

## 第 3 回役員会 平成 18 年 9 月 10 日(日) 愛知県歯科医師会館

- ・愛知県歯学同窓懇話会の件
- ・第 26 回定例総会の反省
- ・役員会忘年会について

## 第 4 回役員会(兼・忘年会) 平成 18 年 12 月 17 日(日) はなだ

- ・本部評議員変更の件
- ・早春会の件
- ・平成 19 年度十三校会幹事校の件
- ・「鶴歯会だより」の件
- ・「石井みどり」選挙の件

## 慶弔報告

- ・元愛知県歯科医師会会長 / 吉兼 守 先生 平成 18 年 08 月 18 日逝去
- ・安藤博史先生(5 回生)のご尊父様 平成 18 年 08 月 21 日逝去
- ・元本部同窓会副会長 / 平本隆介先生(5 回生) 平成 18 年 10 月 17 日逝去

## 編集後記

本年度は新入会員が5名入会された。鶴歯会にとっては非常に喜ばしいことである。30回生、31回生と聞くと、小生と比べると、二十数年も若い。あの鶴見駅近く中華料理屋（焼きそば・餃子を食べに）に毎晩のように通ったあのころから、もう二十数年も達つことになる。早いものである。名古屋から始めて一人住まいをした最初の頃は家がすごく恋しかったことを覚えている。反面、家からの束縛やいろいろな制限から開放され、一番多感だったあの頃、名古屋の田舎とは違う、横浜の都会の空気というか、何か洗練された感覚を味わった。

今この年になってあの6年間を振り返ってみると、あの頃には感じなかったが、自分の人生にとって本当に貴重な体験だったような気がする。気がつく毎日診療に追われてきたこの二十数年間よりも、思い出や、その頃体験したこと、友達と真剣になって話をしたこと、人生について考えたことなど、大学生活6年間のほうが頭の中にはっきりと浮かんでくるのは、小生だけだろうか。

今回、これまでの「鶴歯会だより」と変わって冊子形式ではなく、CD ROM形式で発行させていただきました。PC時代になり文字も、コンピューターのモニターで読む機会が増えましたが、印刷された文字のほうが身近に感じられるし、ゴミ箱に捨てない限り消え去ることはありません。どうかプリンターで「鶴歯会だより21号」を、各自で印刷していただいて、読んでいただきますようお願いいたします。

HT

### 鶴歯会ホームページアドレス

<http://www.tsurumi.gr.jp/~aichi/>

パスワードは不要です。

一度覗いてみてください！



題字 石川 堯雄  
発行人 加藤 友久  
発行所 〒466-0027名古屋市昭和区阿由知通1-16  
医療法人 友善会 加藤歯科医院内  
鶴見大学歯学部同窓会愛知県支部 Tel 052-733-9141  
編集人 田中 英穂